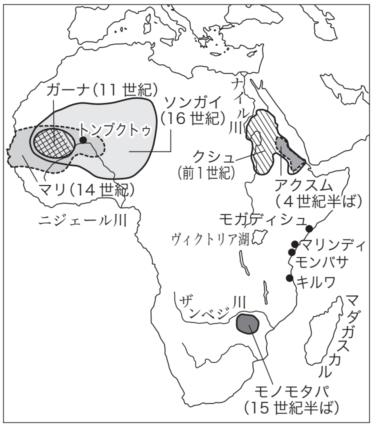
第19講
イスラーム王朝史（オスマン朝まで）

〔1〕サハラ以南のアフリカ



＜古代王朝（イスラーム化以前）＞

クシュ王国〔前10C～前７C〕

クシュ人による最古の黒人国家（ナイル川上流）

メロエ王国〔前７C～後４C〕…鉄器文明の伝播

アクスム（**エチオピア**）**王国**〔前２C～後６C〕

セム系民族がエチオピアに建国

キリスト教を受容

＜イスラーム王朝＞

ガーナ王国

ムラービト朝（ベルベル人）の侵入で衰亡

マリ王国　中心都市　**トンブクトゥ**

マンサ＝ムーサ王（位14C）…メッカ巡礼・イブン＝バットゥータ来訪

ソンガイ王国

モノモタパ王国〔12C～17C〕 都　**ジンバブエ**（石造遺跡）

・アフリカ南部（ザンベジ川）に建国

海港都市…**ムスリム商人**の進出・影響（７C～８C） →　スワヒリ語成立

・モガディシュ（ソマリア）

・マリンディ（ケニア）…鄭和の分遣隊・ヴァスコ＝ダ＝ガマの来航（15C）

・ザンジバル（タンザニア）

・キルワ（タンザニア）

・モザンビーク（モザンビーク）

〔2〕ティムール朝の興亡

ティムール朝（**帝国**）〔1370～1507〕 都　**サマルカンド**

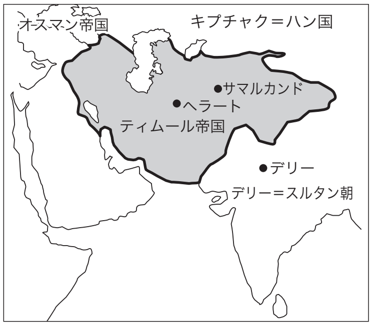
ティムール…トルコ系イスラーム王朝の建国（スンナ派）

西チャガタイ＝ハン国出身・自称チンギス＝ハンの子孫

・**イル＝ハン国**を併合・キプチャク＝ハン国・西北インドを攻略

・**アンカラの戦い**（1402）…オスマン帝国（バヤジット１世を捕虜化）に大勝

明（**永楽帝**時代）への遠征途上に病死



ウズベク族の侵入により滅亡

ウズベク３ハン国…ロシア（ソ連）による併合（19C）

ブハラ＝ハン国

ヒヴァ＝ハン国

コーカンド＝ハン国

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔3〕イスラーム３帝国

①**サファヴィー朝**〔1501 ~ 1736〕

　イスマーイール１世による建国

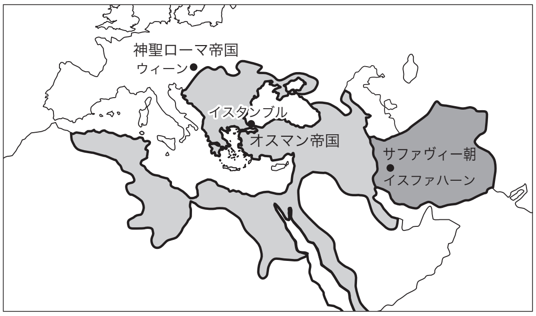
　　シーア派（十二イマーム派）の国教化

　　称号**シャー**の使用

　アッバース１世

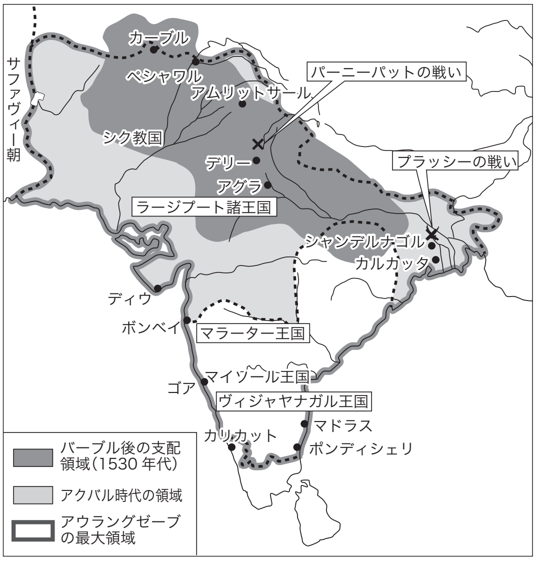
　　新都**イスファハーン（イマームのモスク）**

　アフガン人の侵入で衰亡



オスマン帝国最大領土（16世紀）

②**ムガル帝国**〔1526 ~ 1858．スンナ派〕 都　**デリー**（公用語ペルシア語）



　バーブル…ティムールの子孫

　　ウズベク族に追われパンジャーブ地方に侵入

　　パーニーパットの戦い（1526）…ロディー朝を破り建国

　アクバル（第３代）

　　アグラへの遷都

　　ジズヤの廃止　ヒンドゥー教徒との融和策

　シャー＝ジャハーン（第５代）

　　タージ＝マハル廟の造営（アグラ）

　　ムガル（インド＝イスラーム）文化の最盛期

　アウラングゼーブ（第６代）　最大領土（デカン高原征服）

　　・**ジズヤの復活**．ヒンドゥー教徒・シーア派弾圧

　　異教徒の反乱

　　・**シク教徒**（パンジャーブ地方）…ヒンドゥー教改革派（開祖**ナーナク**）

　　・**ラージプート族**（インダス川下流），ヒンドゥー教国

　　・**マラーター同盟**（デカン高原）…**マラーター王国**（シヴァージー）中心の同盟，ヒンドゥー教国

英仏の侵略（17C）

・英…**マドラス・ボンベイ・カルカッタ**

・仏（ルイ14世時代）…**ポンディシェリ・シャンデルナゴル**

③**オスマン帝国**〔1299 ~ 1922．スンナ派〕

オスマン１世による建国（アナトリア西部）

ムラト１世（第３代）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

　ビザンツ帝国よりアドリアノープル獲得・ブルサから遷都
バヤジット１世（第４代）
　ニコポリスの戦い（1396）…ジギスムント率いるヨーロッパ連合軍に勝利
　アンカラ（アンゴラ）**の戦い**（1402）…ティムールに敗北・中断
メフメト２世（第７代）
・コンスタンティノープル占領．**ビザンツ帝国の滅亡**（1453）
・**イスタンブル**への遷都
セリム１世（第９代）
　マムルーク朝を征服（1517）…メッカ・メディナの支配権を獲得
スレイマン１世（第10代）
　ハンガリー征服（1526．モハーチの戦い）
　ウィーン包囲（第１次．1529．失敗）
　・神聖ローマ皇帝カール５世圧迫
　仏王フランソワ１世と同盟（1535）
　プレヴェザ海戦（1538）
　・スペイン（カルロス１世）・教皇・ヴェネツィア連合艦隊を撃破
セリム２世（第11代）…カピチュレーション（治外法権）を正式に認める
　レパントの海戦で敗北（1571）…地中海支配権の一時後退

イクター制導入
・ティマール…騎士（シパーヒー）は与えられた封土から租税収入
イェニチェリの組織化
デウシルメ…キリスト教徒を改宗させ，要職に登用する制度
ミッレト…宗教別の共同体

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第19講　テスト

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　1076年の①ムラービト朝による②ガーナ王国の征服は西アフリカのイスラーム化を促し，その後におこった「黄金の国」マリ王国やソンガイ王国の支配階級はイスラーム教徒であった。ソンガイ王国は西アフリカの隊商都市の大部分を支配し，北アフリカとの交易で栄え，とくに③ニジェール川中流の交易都市④モガディシュは内陸アフリカにおけるイスラームの学問の中心地として発展した。

2　ティムールは，①キプチャク＝ハン国や北インドに侵入し，のち②小アジアに攻め入ってアンカラ（アンゴラ）の戦い（③1402年）で④セルジューク朝を破り，スルタンを捕虜とした。

3　①イル＝ハン国で成熟を遂げた②モンゴル＝イスラーム文化が③中央アジアに伝えられ，④トルコ＝イスラーム文化として発展した。

4　①13世紀末，西方に進出したトルコ人は小アジア②西北部にオスマン帝国を建設し，小アジア側のビザンツ帝国領を奪うと，やがて③バルカン半島に進出して④コンスタンティノープル（現在のエディルネ）を首都にした（1366年）。

5　オスマン帝国は，①セリム１世のもとで最盛期を迎え，②サファヴィー朝から南イラクを奪い，北アフリカにも支配を広げたばかりでなく，ハンガリーを征服し，③1529年には④ウィーンを包囲した。

6　①サファヴィー朝は建国後，国内統一のために②スンナ派を国教とし，古代以来イランの王を意味する③シャーの称号を用い，④イラン人の民族意識の高揚に努めた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　サファヴィー朝は，①アッバース１世のときに最盛期を迎え，オスマン帝国と戦って領土の一部をとり返し，②イギリス人を③ホルムズ島から追放し，さらに新首都④イスファハーンを建設した。

8　バーブルは，①1526年の②ニハーヴァンドの戦いでデリー＝スルタン朝最後の③ロディー軍に勝利し，④ムガル帝国の端緒を築いた。

9　①アウラングゼーブはヒンドゥー教徒と②イスラーム教徒の融合を図り，非イスラーム教徒に課されていた人頭税（③ジズヤ）を廃止して，ヒンドゥー勢力を④味方につけた。

10　①ムガル宮廷公用語の②ペルシア語がインドの地方語に融合した③ウルドゥー語も誕生した。ウルドゥー語は，現在④バングラデシュの国語となっている。

解答

1　④→トンブクトゥ　　2　④→オスマン朝　　3　②→イラン

4　④→アドリアノープル　　5　①→スレイマン１世　　6　②→シーア派

7　②→ポルトガル人　　8　②→パーニーパットの戦い　　9　①→アクバル

10　④→パキスタン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。